



活動報告：3年生セクシュアリティ教育講演会

11月15日に、3年生対象のセクシュアリティ教育講演会を実施しました。『ふらっとライフ』第6章の著者である中山良子さんを講師に迎え、「妊娠・出産について」という学年の講演テーマに沿ってお話しいただきました。

中山先生は、事前に寄せられた学生からの質問を①強姦性交等罪から不同意性交等罪に移行した点、②ピルについて、③異性間の性交について、④その他の4つに分類したうえで、具体例を挙げながら回答してくださいました。また、性に関する相談窓口も紹介していただきました。

身体を用いたコミュニケーションにおいても、様々な人間関係においても、相手の意思を確認することに尽きる、というメッセージが印象的でした。



3年生の振り返り（12/20現在）

- この講演の内容を理解できましたか？
「はい」(99%)、「いいえ」(1%)
- この講演のテーマについて新しい発見がありましたか？
「はい」(74.7%)、「いいえ」(25.3%)

【学生からのコメント】（一部抜粋）

理解したこと 「相手と話し合うことが何よりも大切で、相手と自分を守ることに繋がるのだと思った。」・「性行為が縁のある話では無かったとしても、知識を持つことは大切だとわかった。」

発見したこと 「性被害を訴えることが今でも困難であるのは知らなかった。」・「法改正について知らなかったため、法改正とその内容について発見した。」・「性だけの話だと思っていたが、先生が色々な例を挙げていたため、基本的な人権についての話でもあると思った。」

その他 「性についてはインターネットで調べることさえも躊躇していたが、相手と自分を守るために学ばなければいけないことだと知った。」

「ふらっと高専」フィールドワークを実施しました（希望者制）

9月29日に、障害者ケア施設「オールケア寝屋川」にて希望者制のフィールドワークを実施し、3～5年生の9名が参加しました。

このフィールドワークは、「1.障害のある方の権利をどのようにして守るかを学ぶ、2.権利を守るためにどのような制度(活動)があるのかを学ぶ、3.障害のある方の生活支援における課題を考える」ことを目的として行われました。

施設スタッフの方からレクチャーを受けたり、利用者の方とレクリエーション（輪投げ、射的など）に参加したりした後、レクリエーションのときの支援につながるような道具についてディスカッションし、スタッフ・利用者の方に発表を聴いていただきました。

参加した学生からは、「今後は、色々な特徴を持つ人の目線に立って物事を考えることが出来ると思う」などの感想が寄せられました。

